

安心して住める建物を目指して・・・

東映コミュニケーションズ株式会社
営業技術部 主任
防犯設備士 第 05-11910 号
千葉県防犯設備協会 セキュリティ診断士 第 12-00032 号

花村 隆行



1. プロフィール

自分の可能性を信じて米国の大学に留学したのが18歳の時でした。右も左もわからない異国の中で、勉強、スポーツに励みました。米国の大学では、美術を専攻し、副専攻は国際経済を学びました。大学に在学中、家に泥棒が入り家財道具を全て持っていかれ途方にくれたのを思い出します。泥棒が入った時 家を不在にしていた本当に良かったと思いました。銃社会の米国では、強盗に鉢合わせをしてもっと大きな事件に巻き込まれ命を落とす人も少なくないからです。その頃から自分の身は自分で守らなくてはいけないと思うようになり犯罪について勉強をするようになりました。

大学を卒業後、宝石業界、家電業界などを経験し現在の会社 東映コミュニケーションズ株式会社に入社しました。

弊社は、積水ハウスの協力工事店として テレビアンテナ工事、通信設備工事、防犯設備工事、シアター工事、そして今注目を浴びている サ高住（サービス付き高齢者向け住宅）にナースコールなどを提案施工するなど弱電工事をメインに関東一円で提案・施工・アフターを行っている会社です。

2. 日本防犯設備協会との出会い

野口聡一宇宙飛行士がスペースシャトル「ディスカバリー」で宇宙に行った2005年、スマトラ島沖地震が発生しテレビに釘付けになっていると、ふと大学在学中に泥棒に入られた時の記憶がよみがえりました。一度泥棒に入られてしまうと、また入られるのではないかと不安になり安心して生活が出来なくなることを思い出しました。そんな自分と同じ環境の人を作りたくいという強い思いが安心して生活を送る為にどんな提案が弊社に出来るのかを考え

るきっかけになりました。安心して生活出来る環境を提案する為には、泥棒に狙われ難い建物、防犯設備が必要不可欠な設備だと考えだしたのも同じ年でした。

ただ防犯設備を提案するのではなく質の高い防犯設備を提案する為にどうしたら良いのだろうと試行錯誤し防犯設備業界のことを調べている時に出会ったのが日本防犯設備協会でした。

防犯設備士という資格があることを知り、防犯の世界に引き込まれました。

防犯設備士の資格を取る為には、養成講習を受け認定試験を通過しなくてはなりません。防犯の基本から応用、図面表記まで今の知識の基盤となっていることは間違えありません。同年 晴れて防犯設備士になりました。

今、当社には防犯設備士が19人います。質の高い防犯設備の提案をする為に営業はもちろんのこと、工事人、事務員まで防犯設備士の資格を持っています。地域の防犯研修会に参加したり、警察の方から犯罪の現状を聞いたり、日本防犯設備協会に出会い、防犯設備士の資格を取ったことは質の高い防犯設備を提案する上で本当に必要な資格だと実感しています。

3. 千葉県防犯優良マンション・アパート認定制度 認定第 0001 号

千葉県の担当営業として配置転換があったのが2年前。千葉県は全国でもワーストに入るぐらい犯罪発生率の高い県になります。自分が出来る事は・・・ 防犯設備士の血が沸き立つのを感じる瞬間でもありました。

そこで自分はまず共同住宅にターゲットを絞りました。共同賃貸住宅は入居者、オーナー（経営）、不動産（入居募集）と3者がメリットを感じる防犯提案でなくてはい

けません。県が認めてくれている認定制度があれば入居者募集時に付加価値の一つとして提案が出来き、防犯力が安定経営につながり入居者も安心して住む事が出来ると思いました。

地域に密着した低層の共同賃貸住宅に防犯設備を導入し地域の防犯力を高め「積水ハウス＝防犯住宅」、「安心・安全」として入居者が安心して住むことが出来る共同賃貸住宅を「見える形」で提案できないかと考えました。

そんな折、千葉県で防犯優良マンションの制度が、低層の賃貸住宅まで広がっていると知り、調べた結果 千葉県防犯協会が主体になって動いていると分かりました。早速、千葉県防犯協会に行き説明を受けました。新しく認定制度の選択肢が増え、マンション以外にも低層共同賃貸住宅で認定が受けられる「防犯優良マンション・アパート認定制度」が出来たことを知りました。まだ認定制度の選択肢が増えてから新規認定物件は出ていないとの事でした。



積水ハウスは住宅以外、共同住宅にも防犯に配慮した住まいづくり(2013 SPRING 防犯設備 NO.107 P48参照)に力を入れていて「防犯優良マンション・アパート認定制度」は入居者、オーナー、管理会社にメリットがあるとの考えに積水ハウスも賛同して頂き船橋市の物件が認定第1号になりました。最近はテレビなどでも防犯カメラの映像が流れることも多くなり入居条件にセキュリティ(防犯)が重要視されてきています。第一号の認定物件はテレビや新聞などのマスメディアでも紹介さ

れ防犯性能が高い賃貸住宅として注目を集めることになりました。

現在、2棟目、3棟目と防犯優良マンション・アパート認定制度の物件が増えています。

4. 防犯設備士として

防犯設備士として地域の防犯活動にも参加が出来、色々な情報を吸収する為に千葉県防犯設備協会の賛助会員になり、セキュリティ診断資格者証も取りました。

会社の中にも防犯設備士の仲間が増え、これからは防犯設備設置業者として、犯罪に巻き込まれにくい住宅・共同住宅の提案を行い安心して住める住環境の提案をこれからも行っていきます。

最後にこれからも防犯設備士として地域の防犯活動に協力をしながら常に新しい情報を入手し配信が出来る電波塔になっていこうと思います。これからも防犯設備士として、皆様と一緒に精進していきます。よろしくお願い致します。

